

# マネジメントメンターの伴走支援により、特許出願及び特許取得を達成。 また、特許に関する知識や知的財産戦略のノウハウを獲得。

## 株式会社kiwami (東京都豊島区)

ソーシャルゲームをはじめとした、エンタメ事業分野で培ったクリエイティブ技術と最先端のソフトウェア開発技術を組み合わせ、コンシューマに支持を受ける顧客体験を目指したインターネット関連サービス企画・プロデュース、ソフトウェア開発・運用、デジタルマーケティングを行っています。

<https://kiwaminet.com/>



### 課題と対応、成果

#### 【経営課題】

システム開発後に特許制度を活用し独占権を得るとともに、技術内容を公開し、利用を促すことで産業の発展に寄与したいと考えていた。しかし、**特許に関する知識、知的財産戦略に関するノウハウが不足**しているという課題があった。

#### 【マネジメントメンターの取組内容】

##### ■ 知財事務所との橋渡し役

大企業での経験による知財全般の支援だけでなく、知財事務所と社との間に入り、**同社の意向が反映されるように知財事務所に説明したり、知財事務所からの説明をかみ砕いて社内にも説明する**といった橋渡し役的な支援を実施。

##### ■ 今後の事業展開への相談役

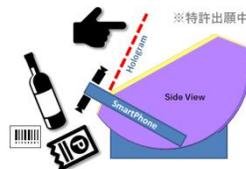
当初実施していた特許・知財に関する支援だけではなく、**人事制度の策定における課題をはじめ、様々な課題の解決策を同社と同じ目線・同じ立場になって考え、助言を行った。**

#### 【成果・効果】

##### ■ 商標権・意匠権の取得及び関連ノウハウの蓄積 等

マネジメントメンターの支援により、各種特許の申請・出願を行うとともに、**商標権・意匠権の特許取得まで至った**。そのプロセスを通じて、**特許に関する知識や知的財産戦略におけるノウハウを社内に蓄積することができた**。また、人事制度等の課題も解決に向けた道筋が明確になった。

HoloVase



### 新現役交流会について

#### 【交流会活用のきっかけ】

- 従前より、きらぼし銀行へ知的財産戦略について相談をしており、経営課題解決に向けてきらぼし銀行から様々な提案を受けていた。その提案の一つとして新現役交流会の紹介を受けたため参加に至った。
- 新現役交流会参加にあたっては、**自社で明確な経営課題を持って、交流会に臨む**ことができた。

#### 【マネジメントメンターを選んだ理由】

- 決め手は「大企業での知財ノウハウ」

面談においてしっかりと自社への提案の準備をされており、また、**マネジメントメンターが有している知的財産戦略に感銘を受けた**。**支援の方法としても、知的財産戦略におけるノウハウの助言だけではなく、メーカーで働いていた経験から自社と同じ目線・同じ立場で考えた助言をしてくれたことが決め手となり、支援を依頼した。**

### 今後の課題・展望

- 獲得できたノウハウを生かし、自社で知的財産戦略を実行していく。
- 今後は、具体的な就業規則や人事制度の策定に向けて取り組んでおり、マネジメントメンターとともに会社の組織づくりも充実させていきたい。

## 新現役交流会活用企業

(株)kiwami  
代表取締役  
三鴨千早氏



今回、はじめて新現役交流会に参加させていただきました。

弊社は2019年に創業しましたが、私や創業メンバーがゲーム開発企業で培った先端の技術を使って、ゲーム以外の分野で何か世の中に面白い事ができるんじゃないか？という観点から、普段ゲームを遊ばない人にも驚きや、見て楽しい、触れて楽しいようなシステムやコンテンツの提供を目指しておりました。

中でも、未来を感じさせるようなホログラムを使ったデバイスやコンテンツはとても魅力的で話題性も高いものでしたが、逆に、先端技術であることもあり、今後知財戦略が必要なのではないかと思っていたところで、お取引先であった、きらぼし銀行様よりお声かけ頂いたのが契機でございます。

当初は弁理士や士業の方との人脈が作れるのではないかと期待していましたが、実際に相談をしているうちに、**プロとして知財の相談を受ける側ではなく、大企業で企業側の知財担当として知財の相談をする側として活動されていた石田氏が私達の悩みに最も答えをもっている方である**と感じました。

実際に、石田氏から**特許事務所様の紹介や相談の仕方など、具体的な支援を得られ意匠や特許の取得に至る事ができました**。石田氏の知識と経験は素晴らしいものがあり、本当に感謝しております。

また、未筆ながら、経済産業省関東経済産業局ときらぼし銀行の皆様へ感謝致します。

## マネジメントメンター

石田晴彦氏



定年後、社会にお役に立てることはないかと思い、友人に話したところ、経済産業省関東経済産業局の新現役交流会があると紹介され、登録いたしました。新現役交流会で銀行様にご紹介いただく案件は、いずれも興味深いものがあり、件名ごとに自分にできるものはないものかと都度検討させていただきました。

そんななか、きらぼし銀行様からご紹介いただいた案件のなかで、知的財産権取得に関わる案件が目にとまり、これなら応援できるのではないかと思い応募したことが株式会社kiwami様との出会いでした。**知的財産権は、私自身現役時代、新規事業を進める中で、必ず出てくると言っても過言ではない課題だったので、その時の手続きや取得の方法などをお話しできるのではないかと考えました。**

実際、株式会社kiwami様にお会いしてお話を伺うと、「なんと情熱的な方々なんだろう。また、開発されたものもすばらしくきっとブレークするに違いない」と思ったのが第一印象でした。私自身、知的財産権の専門家ではありませんが、**知的財産権の取得手続き、概算費用、取得後のメンテナンス**など一連の流れを私の拙い経験に基づいて話すことができました。私自身は、特許事務所との橋渡し役にすぎませんが、今回の話し合いを通じて、株式会社kiwami様の事業推進に少しでもお役に立てたのであればうれしい限りです。

最後に、株式会社kiwamiの三鴨様、鈴木様の熱い思いに触れることができ、こちらも活力をもらったような気がします。お二人に感謝です。また、こんな場を紹介していただいた、関東経済産業局のご担当者様、きらぼし銀行の鈴木様、ありがとうございました。

## 開催機関

きらぼし銀行  
連携推進部  
鈴木慶太氏



きらぼし銀行は、2021年までに新現役交流会を3回実施しており、株式会社kiwami様は、2020年に参加していただきました。当行が東京都立大学様と共催で実施している「技術懇親会（東京都立大学の先生が研究内容を発表し産学連携につなげるイベント）」に株式会社kiwami様が参加された際に「**知財戦略に課題を抱えている**」と聞き、新現役交流会が課題の解決につながればと思い、お声をかけさせていただきました。

新現役交流会参加で株式会社kiwami様に喜んでいただいた一番の要因は、マネジメントメンターの石田様との相性にあったかと思います。個別支援時、私も同席しましたが、石田様は、株式会社kiwami様の目線に立ち、**知的財産権取得の重要性、困難さ、手順、留意点等を自身の苦労した経験等を交え、説明し、課題解決の支援**をしていただきました。話をする様子から、企業の役に立ちたいという強い思いを感じました。

新現役交流会に参加していただいた後も、株式会社kiwami様は事業規模を大きくされ、社員を増やしていらっしゃいます。そこで、人材戦略について、11月に開催する新現役交流会に参加していただくことになりました。

新現役交流会では、複数のマネジメントメンターと面談し、**提案力はもちろん人間性を含めて比較検討することにより自社の最適なパートナーを選択**でき、それが大きな魅力だと考えております。きらぼし銀行では、新現役交流会の実施回数が増え、当行内部でも新現役交流会をよく知らない職員も多くなります。もつと多くの企業の方に新現役交流会の魅力を伝え、株式会社kiwami様のように参加してよかったと思ってもらうことが、私の願いです。